

第4回 宇和島市立伊達博物館建替委員会 会議録

- 日 時 令和元年10月30日(水) 9:30～11:30
- 場 所 宇和島市役所6階 602会議室
- 出席者 [宇和島市立伊達博物館建替委員会委員(順不同、敬称略)]
玉田光彦、金瀬聡、山田芳人、日前賢一郎、
伊達宗信、二宮信彦、廣瀬孝子、木村宗慎、本田耕一
永田幸子、藤堂真二、三好めぐみ、二宮一之、田中広興
- 欠席者 岡原文彰、清家康生、中平政志
[事務局]
教育部長
文化・スポーツ課長
伊達博物館(館長、係長、学芸員)
株式会社トータルメディア開発研究所
- 議 事 (1) 報告・説明事項
①立地複合施設専門部会の答申について
(2) 協議事項
①立地及び複合施設の選定について
②専門部会員(設備展示・サービス)の選任について
③専門部会(設備展示・サービス)への諮問について
(3) その他

次 第

- 1 開会
- 2 議事
- 3 閉会

■会議の記録

1 開 会

(事務局による司会進行)

委員長

(委員長挨拶)

- ・ 4 回目の委員会となり、具体的なプロジェクトを進めていく段階になった。
- ・ 実りのある議論を期待したい。

2 議事

(1) 報告・説明事項について

①立地複合施設専門部会の答申について

議長

- ・ 立地複合施設専門部会の答申について、専門部会長の金瀬委員よりお願いいたします。

金瀬部会長

- ・ 「新博物館を天赦公園内に移転して建替え、観光交流センターを合築相手とすることが望ましい」というのが結論である。

○立地選定の理由について

金瀬部会長

- ・ 新博物館を天赦公園内に建設し、天赦園、天赦公園及び現博物館跡地を一体として再構築することにより「伊達文化エリア」の魅力を向上させ、基本理念である「新しいまちづくりと景観の美しさの象徴となるべき博物館」をより具現化できる。
- ・ 現地での建て替えと比較して、現博物館の休館を最小限に抑えられる等、スケジュールの進めやすさに加え、資料の移動に対するリスクや費用面においても大きな優位性がある。
- ・ 災害への安全性については、現地建て替えが数字上、優位であるが、防災マップ、須賀川洪水ハザードマップ及び液状化マップのいずれも、現博物館と天赦公園の間にある市道に想定上の端境があるにすぎず、実質的に大きな差異は無いと判断した。

○複合施設選定の理由について

金瀬部会長

- ・観光交流センターを合築相手とすることで、宇和島の総合的な文化や伝統を紹介し、地域住民と観光客の交流を促進することにより、基本理念である「地域の歴史文化の再生、共創の象徴となるべき博物館」をより具現化できる。
- ・市民への郷土学習、生涯学習の機会創出や、気軽に利用できる憩いの場としての役割も期待でき、歴史系博物館との親和性及び相乗効果を勘案し、最も適していると判断した。

○答申に係る進言について

金瀬部会長

- ・天赦公園内に建設するにあたり、日常的に同公園を散策するなどして利用している市民の利用形態に鑑み、天赦園及び天赦公園と一体化された、開かれたスペースとして、それぞれが相乗効果を発揮できる配置や意匠の工夫がなされるべきである。
- ・現博物館跡地の利用については、偕楽園や伊達家の蔵を活用しながら、「伊達文化エリア」としての雰囲気醸成することのできる計画を別途検討されたい。
- ・観光交流センターを合築相手にするにあたり、歴史系博物館との親和性を計り、それぞれが別物であるとの違和感を感じさせることなく、一体であるものを目指すべきである。
- ・歴史資料館及び城山郷土館については、観光交流センターと内容が重複する為、コンテンツのみを統合し、それぞれの建物を別の目的に活用することも可能であるので、このことも含めて別途検討が必要である。

(2) 協議事項

①立地及び複合施設の選定について

議長

- ・ただいまの答申について何か質問はないか。

- A委員
- ・全国の歴史的な博物館は大体、御殿の中にあるから、建設場所として見当外れではない。
 - ・天赦園から城が見えない、新しい博物館から城が見えないということは絶対に避けるべきである。
 - ・博物館改築を機に、宇和島市全体の発展を考えて欲しい。現状の観光施設は点となっており、ただ通過していく街になってしまっている。
- B委員
- ・観光交流センターについて、既存の施設との重複についてはどう考えるか。
- C委員
- ・今回の事業は、伊達博物館のみならず、面という意味合いで、都市整備の中でやろうとしている。
 - ・今お話のあった重複する部分についても、整理しながら進めていく。
- B委員
- ・小中学校、高校に近い場所での改築になるので、幼児教育も含め、視聴覚教育としての役割も担保されるべきである。
- D委員
- ・立地について、安全面は大丈夫か。
 - ・観光について、外国船も寄港しているが、また宇和島に来たいと思ってもらえるよう、手探りでやっている。観光協会の新しい事務所も計画されているが、機能が分散するのでは意味をなさない。
- 金瀬部会長
- ・防災については、エリア分けの線が、現伊達博物館と天赦公園の間に引かれている。道を隔てているだけなので、極端な差異はないだろうというのが結論である。
 - ・観光については、リーフレットを置いただけの、単なるインフォメーションセンターではなく、宇和島市の歴史文化的な情報をわかりやすく展示し、統括的かつ全体的に触れることができるような施設を合築する。

- E 委員
- ・天赦公園について、地盤が弱く、出水の可能性もある。
 - ・天赦園の湧き水が無くなってしまふだとか、そういう可能性はないのか。
- 金瀬部会長
- ・地質調査の段階で悪影響があるとわかるのであれば、できる限り天赦公園の敷地内で避ける方法を検討する。
- E 委員
- ・天赦公園の地盤についてかなり心配があつて、立地場所が変更になると混乱を招きかねないので、きちんと整理をしておきたい。
 - ・先行している事業があつて、改築事業は後追いになる。重複しないようにするのは良いが、そのことを意識しすぎると中途半端なものになりかねない。
- B 委員
- ・こういった懸念はどう反映させていくのか。
- 金瀬部会長
- ・議事録としてとりまとめていくのはもちろんのこと、設計の段階において、たとえば「天赦園の借景を確保すること」と仕様書に盛り込んで発注していく形になる。
- A 委員
- ・天赦公園は水がたまるのではなく、下から水が噴いてくる汽水域だから御殿は建てずに庭だった。しかし埋立ではないので建てられると推測する。
 - ・きさいや広場の駐車場は無料で、その中に観光協会があるから利点がある。観光協会が新しく別の場所になって、その駐車場が有料だったらナンセンスだ。
 - ・この博物館の改築を、宇和島市の各主要施設が点在するのではなく、市が一体となって計画する契機にしてもらいたい。
- F 委員
- ・「収蔵庫、企画展示室は2階以上とすること」とあるが、防災マップでは5メートルとなっているが大丈夫か。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・一般家屋では5メートルは2階でも足りないが、博物館等の1階の天井は高いので、2階部分でも5メートル以上にはなるといふ考え方である。
G委員	<ul style="list-style-type: none"> ・近年の災害をみても、本当に大丈夫か、という心配がある。貴重な文化資産は取り返しが見つからない。 ・観光動線についても、市の部署を超えて計画していただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・何階建ての建物になるか未定であるが、安全面を最優先としたものにしたい。
H委員	<ul style="list-style-type: none"> ・パフィオうわじま等の駅前と、宇和島城、そして今回の伊達文化エリアを案内板や道をカラー舗装するなどして、両方を動線でつないでいきたい。
B委員	<ul style="list-style-type: none"> ・天赦公園内に博物館を建設し、偕楽園を含む現博物館敷地と一体化した開かれたエリアとして、宇和島の景観の柱となる公園緑地帯として計画できれば良い。
A委員	<ul style="list-style-type: none"> ・新博物館の集客も大切で、無料エリアを設けるのであれば、そちらばかりに人が集まり、有料部分には人が入らないものにして欲しくない。 ・博物館の展示にはお金をかけてもらいたい。お金をかけた分だけ集客が上がるのは事実である。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・議論が出尽くしたところで、この答申に基づき採決する。賛成の方は挙手を願いたい。 <p style="text-align: center;">(全員挙手)</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・全会一致により天赦公園内に移設し、観光交流センターを合築することで決定する。

②専門部会員（設備展示・サービス）の選任について

- | | |
|--------|---|
| 議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の委員会で、展示設備部会長に現博物館長の土居館長を指名してあるが、専門部会員案について説明されたい。 |
| 土居部会長 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員長や事務局と相談しながら人選を進めた ・ 建築住宅課や当館学芸員等の市職員を5名、学識経験者として3名、県職員の学芸員を2名を選出した。 |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じく、前回の委員会で、サービス部会長に伊達委員を指名してあるが、専門部会員案について説明されたい。 |
| 伊達部会長 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣施設の利用者の誘導を図るべく、近隣高校の教職員、高校生まちづくり課の担当職員及び市立宇和島病院の職員を選出した。 ・ 学校現場からの意見も参考にすべく、小学校教諭でもある学校教育課の職員を選出した。 ・ 誰にでも利用しやすい施設を目指すべく、障がいをもたれている方の意見を集約できる者2名及び外国人の方を選出した。 |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・ これについて意見はないか。 |
| I 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 障がいをもたれている方から、当事者しかわからないこともあるので、意見を取り入れて欲しいとの声を聞いた。 |
| B 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ この委員会にも、各団体を代表して選出されている方もいるので、幅広いヒアリングの機会があっても良いと思う。 |
| H 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 部会員以外でも、情報収集が必要な場合は、その課題に精通した人をオブザーバーとして協力してもらっても良い。 |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・ それでは部会員案について採決する。 |
| (全員挙手) | |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 全会一致により案のとおり、展示設備部会員、サービス部会員を選任する。 |

②専門部会（展示設備・サービス部会）への諮問について

(諮問事項案)

・展示設備部会への諮問事項案

「宇和島伊達家伝来の資料をはじめとする、宇和島市の総合的な歴史、伝統、文化、産業、風土及び人物等について、わかりやすく魅力的に発信することのできる展示形態のあり方について答申されたい。あわせて、それらの資料を安全かつ効率的に収蔵することができ、博物館機能を効果的に発揮できる設備についても検討し、答申されたい。」

・サービス部会への諮問事項案

「博物館としての基本的な機能である展示及び資料保全に係る設備以外で、博物館に付加することにより質の向上を見込むことができる、公共の福祉を含む博物館利用に関するサービス全般のあり方について答申されたい。」

議長

・この諮問事項案について何か意見はないか。
・全会一致により、この内容にて諮問する。
・展示設備、サービス部会の両部会長においては、次回開催予定の委員会にて答申されたい。

(3) その他

事務局

・次回、第5回建替委員会は、1月の中旬以降に開催したい。
・引き続き色々な意見を聞かせ願いたい。

E委員

・委員会のあり方について、例えば選出されている団体での役職が変更された場合はどう取り扱うのか。

事務局

・当委員会が発足する前に開催した2回にわたる準備会の中で、職務の場合は致し方ないが、団体内での役職の変更の場合は極力、同じ方が引き続き受け持ってもらえるように、との意見があり、第1回目の委員会をお願いしている。

E 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市議会から、当委員会での進捗状況がよくわからないとの意見を聞いた。 ・市民に対して、もっと世論を巻き込んで考えないといけないことが課題であると思う。
F 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・当委員会での情報はどう管理すれば良いのか。どこまで情報をオープンにして良いのか。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・本日のように採決を取って、採択したものについては情報発信して構わないと思うが、事務局としてはどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・お見込みのとおり。 ・各委員には、対外的に説明し、その意見を収集していただく役割も期待している。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・議会への説明は大丈夫か。
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の代表たる議会に対しては、しっかりと話をし、理解や周知をするべきである。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・議員選出の委員については、他の公務と重なったため、やむなく欠席となった。別に説明をする機会を設けたい。 ・日程を調整する上で、配慮不足であった。次回からはこのようなことがないように心がけたい。
3 閉会	
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局は、その懸念を踏まえて、よろしく願いたい。 ・以上をもって、第4回宇和島市立伊達博物館建替委員会を閉会する。